

平成29年度

学校法人北照高等学校 学校評価書

学校法人 北照高等学校  
理事長 東 廣 様

平成29年度学校関係者評価を、教員自己評価・校務分掌、学年の自己評価・生徒質問票による自己評価分析結果に基づき下記の通り取りまとめましたので報告いたします。

1. 学校関係者評価の実施について

- ①平成30年3月27日 学校法人北照高等学校理事・評議委員会の中で実施
  - ②平成30年4月28日 北照高等学校PTA総会の中で実施
- 内容 平成30年度3学期末までの教員自己評価・生徒質問票による自己評価分析結果及び自己評価を教頭が説明。

2. 評価項目と評価内容

① 教育活動について

昨年度に提言をした事故を未然に防ぐことについて、当該の部活動の顧問を中心に、生徒や保護者からの信頼回復に努め、良好に部活動の運営が行われている様子であり、学校の速やかかつ、丁寧な対応を評価する。加えて、学校が以前より力を入れている進路指導についても、担任と担当部署が連携して生徒一人ひとりの希望に合わせて決定する事ができている上に、3年間を通じたキャリア教育を行うことを目的に「ワインプロジェクト」を立ち上げ、軌道に乗せるための様々な取り組みを行っており、今後のさらなる進展に期待したい。

北照高校へは、部活動に力を入れる希望を持つ生徒、高校で将来の希望を定めてそれに向かって努力をする生徒、中学校までの課題を高校で克服することを目指す生徒など、様々な生徒が在籍している。その一人ひとりと向き合い、丁寧に指導をすることは大変なことだと思われるが、今後も地道な取り組みを続けて欲しい。

② 生徒質問票の分析結果について

過去の分析で生徒の満足度に直結していた進路指導・生徒や保護者との関係において継続的に高い評価を得ているが、このことが学校に対する満足度に直結しないという結果であった。この原因として、過去のアンケート集計結果では進路や人間関係など特定の項目が満足度に影響を与えていたが、今年度は学校生活に満足をしている生徒としていない生徒に二分されてしまっているとの説明があった。学校生活に満足できていない生徒が総ての項目で低い評価をした原因をできる限り分析して、できる改善を行う努力をして欲しい。さらに、例年満足度の低い施設に関して、一昨年の学食・進路指導室・図書館に続き、今年度は暖房等についても改善を行ったとの説明があった。それらの効果がアンケート結果に直結する所までは達していないが、生徒や保護者の要望に応え前向きな対応をして頂いている点は評価したい。今後も引き続き生徒の学習環境の整備についても取り組んで欲しい。

③ 総 評

平成 29 年度の教育活動を精査した結果、評価が下がっている点は気になるものの、おおむね良好と判断したい。今年度も「克己復礼」の校訓に基づき、親身に教育活動を行って欲しい。

上記の通り報告いたします。

平成 30 年 5 月 15 日

北照高等学校保護者と教師の会会長

川口 政康

